

海況情報【内湾湾口観測結果】

愛知県水産試験場漁業生産研究所

令和4年12月15日

【観測結果（調査日：12月5、7日）】

12月5日に伊勢湾北部、7日に伊勢湾南部と渥美外海の観測を実施しました。海面水温は15.8℃から20.5℃となっており、伊勢湾奥部から渥美外海に向けて水温が高くなっています。黒潮の本流が遠州灘に接近している影響により、渥美外海が高温傾向になっています。

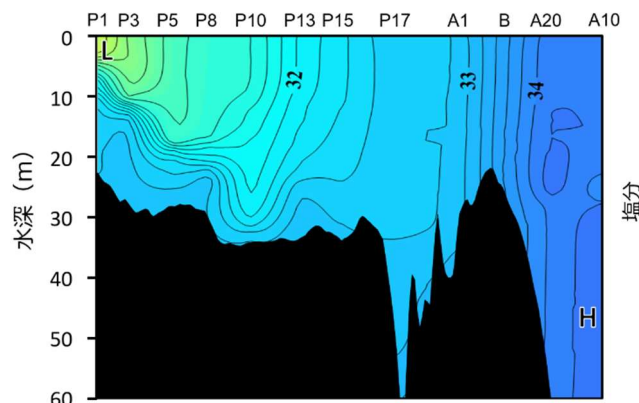
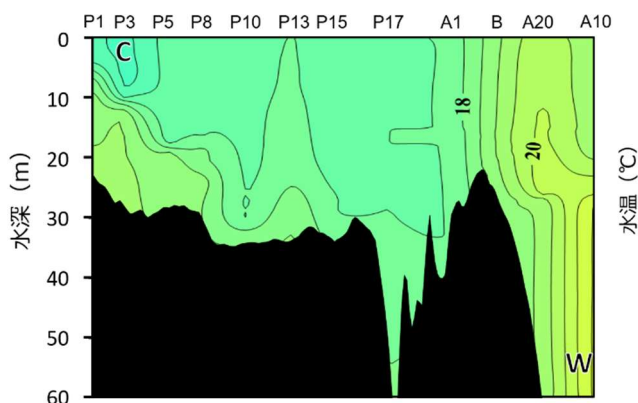
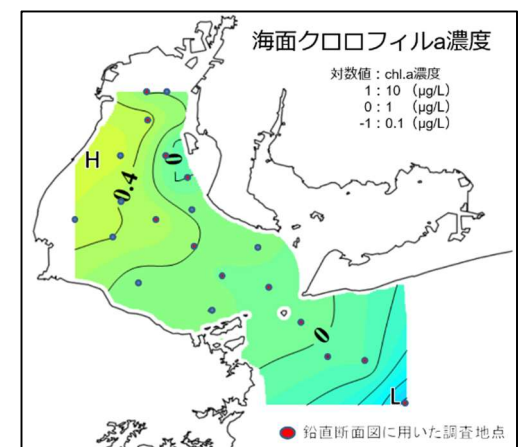
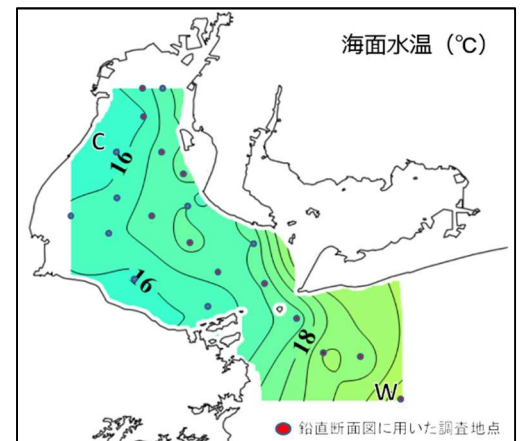
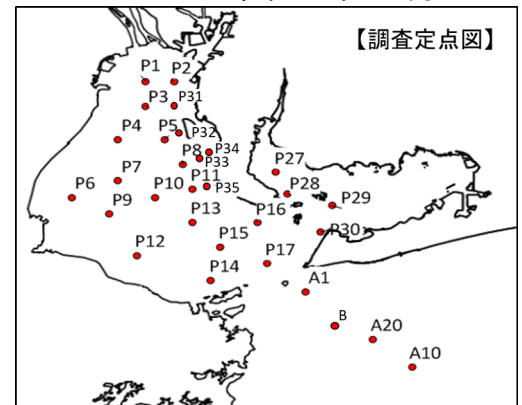
海面のクロロフィルa濃度は、伊勢湾湾奥の三重県側から湾中央にかけて高く、渥美外海で低くなっています。

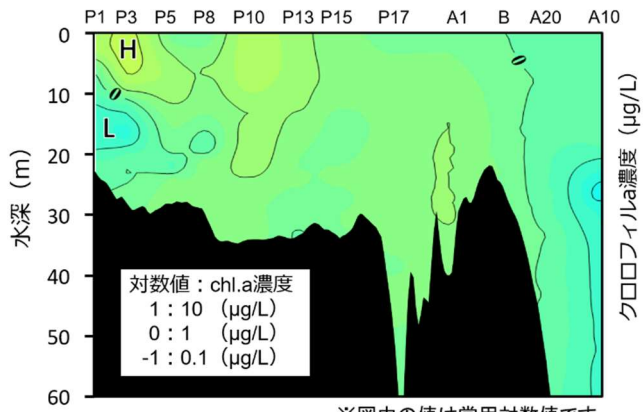
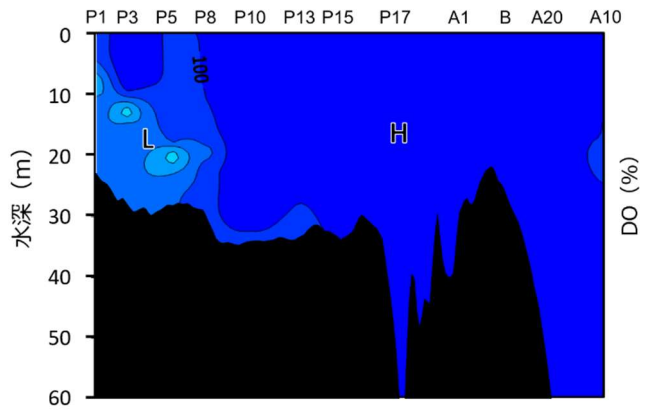
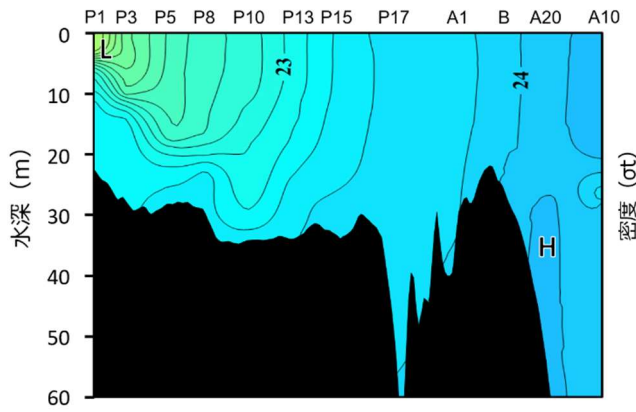
【鉛直分布（調査点：P1～A10）】

伊勢湾における湾奥（P1）から湾中央（P10）にかけての表層は、河川水からの影響で低塩分の軽い水が分布し、湾口に向かうほどよく混合されています。外海側では、黒潮本流からの暖水波及によりA20からA10まで高温・高塩分水が分布しています。

クロロフィルa濃度は湾奥部（P1）から湾中央部（P13）にかけての表層を中心に極大層がみられます。

湾奥部（P1）から渥美外海（A20）において、貧酸素水塊（溶存酸素飽和度30%以下）分布していませんでした。





※図中の値は常用対数值です